

2018年12月期 決算説明資料

株式会社アエリア
JASDAQ(3758)
2019年3月18日

1. 2018年12月期通期業績報告
2. セグメント別トピックスのご報告
3. 今後の経営方針について

2018年12月期 業績報告

売上高 : 31,471百万円 (前年同期比98.3%増加)
営業利益 : 1,876百万円 (前年同期比30.3%減少)
EBITDA : 3,291百万円 (前年同期比4.1%減少)
 ※減損損失等の計上により2,201百万円の特別損失を計上。

トピックス

コンテンツ事業

A3!を中心として堅調に推移。
シナジー創出を企図し、アエリアコンテンツ・ホールディングスを設立。

ITサービス事業

安定成長を継続中。

アセットマネージメント事業

堅調に推移。キャラクターコラボレーション民泊の実施。
京都・大阪にて新規宿泊施設をオープン。

2019年12月期 業績見通し

売上高 : 32,000百万円 (前期比101.7%)
営業利益 : 2,200百万円 (前期比117.3%)
EBITDA : 3,700百万円 (前期比112.4%)
各子会社の収益性向上を図ると共に、グループ再編等も通じ収益力を高める。



2018年12月期通期業績報告

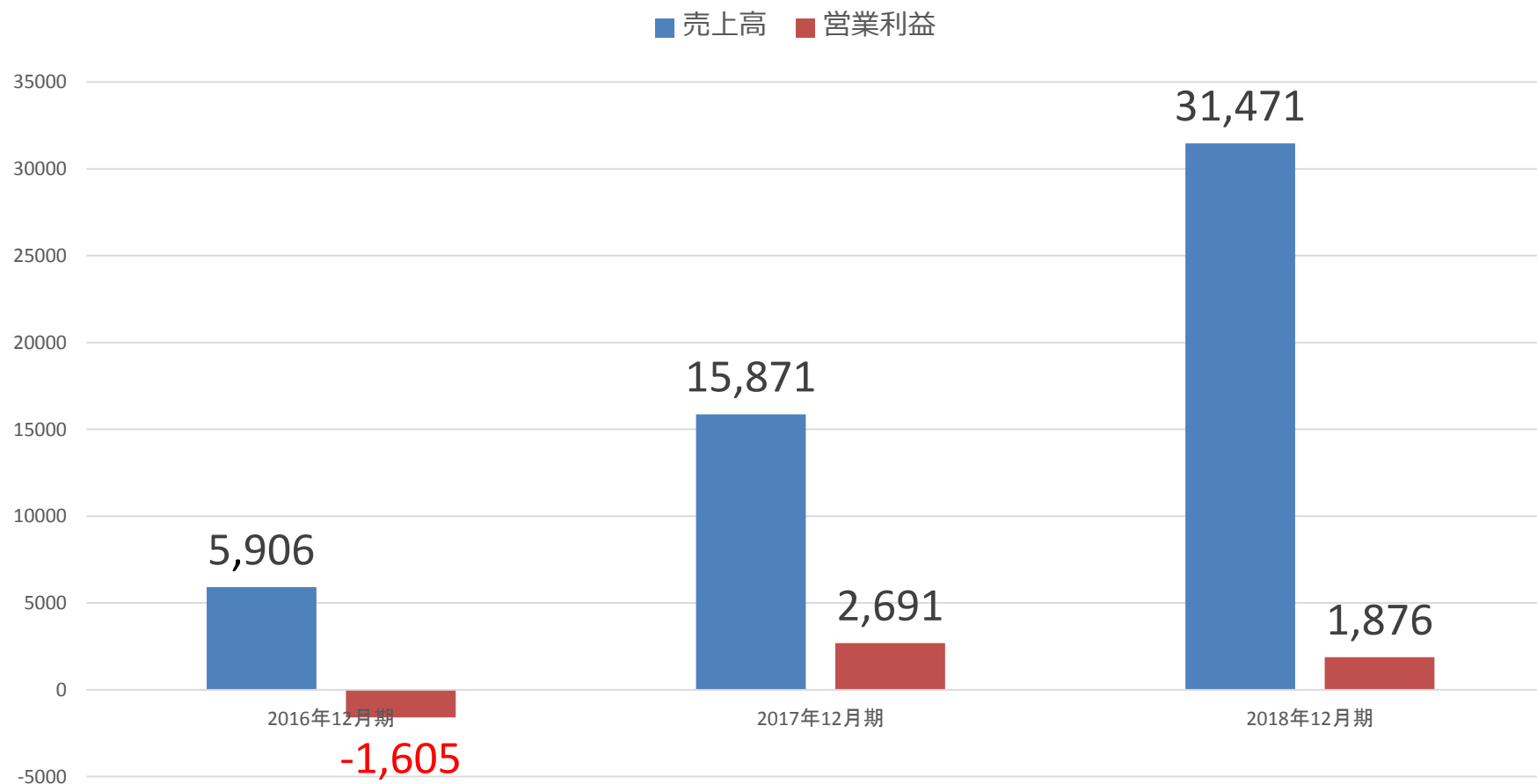
売上高は31,471百万円（前期比98.3%増）、営業利益は1,876百万円（前期比30.3%減）、EBITDAは3,291百万円（前期比4.1%減）となりました。

単位：百万円（百万円未満切り捨て）	2018年12月期	2017年12月期	前期増減額	前期比増減率
売上高	31,471	15,871	15,599	98.3%
売上総利益	11,092	8,155	2,937	36.0%
販売費及び一般管理費	9,215	5,463	3,751	68.7%
営業利益	1,876	2,691	△814	△30.3%
経常利益	1,615	2,760	△1,145	△41.5%
税金等調整前当期純利益	135	2,736	△2,601	△95.1%
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,380	2,080	△3,461	-
EBITDA （営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）	3,291	3,431	△139	△4.1%

売上高は、主にA3！の収益が好調に推移した事、及び連結子会社の増加により、大きく増加致しました。営業利益は、償却費の増加やキャラクターIPビジネス拡大のための広告宣伝費により、減少となりました。

(単位：百万円)

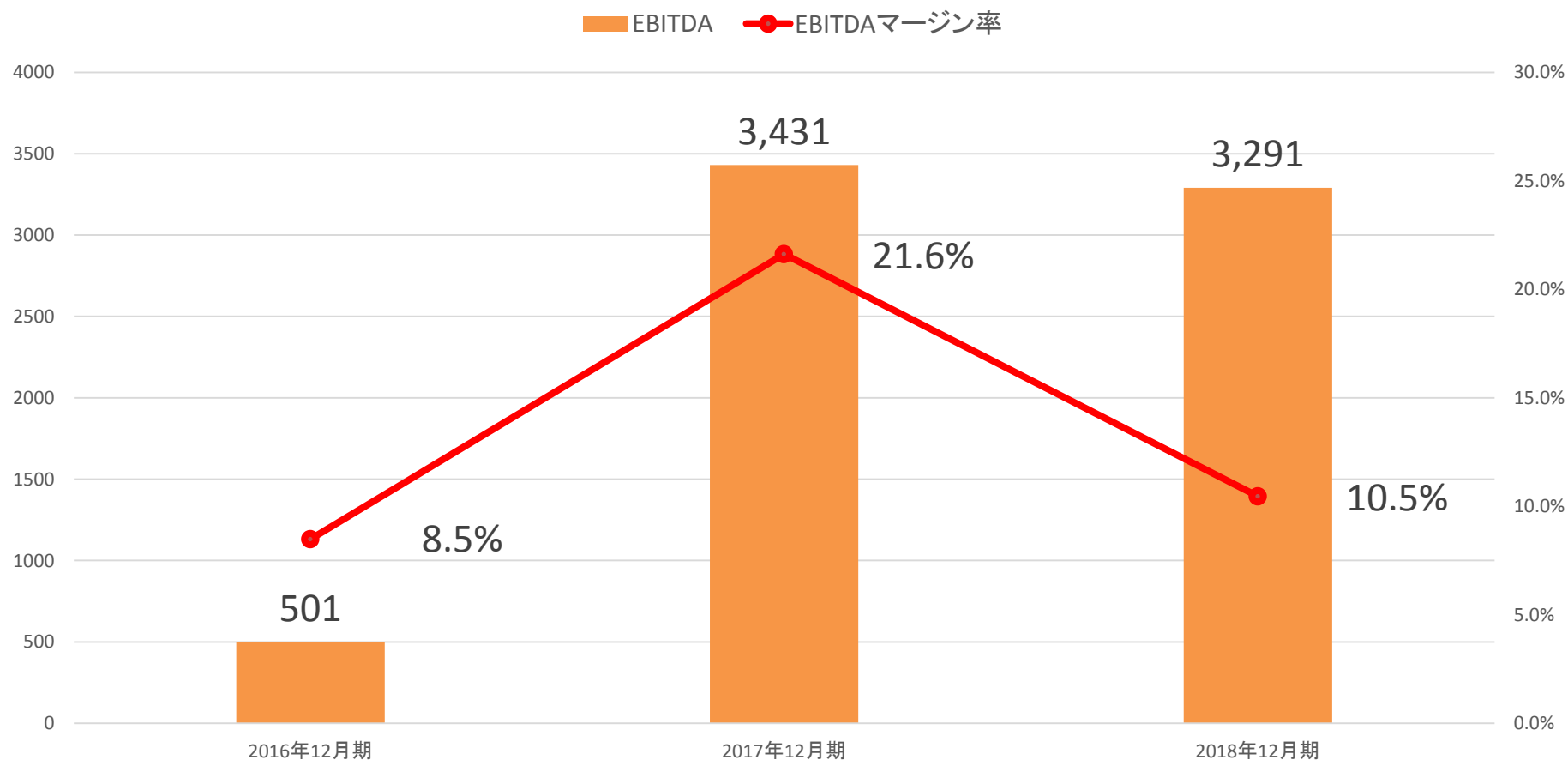
売上高・営業利益推移



EBITDAは堅調に推移しているものの、EBITDAマージン率は低下。
各子会社の収益性向上を図るとともに、グループ再編等も通じて収益力を高めて参ります。

(単位：百万円)

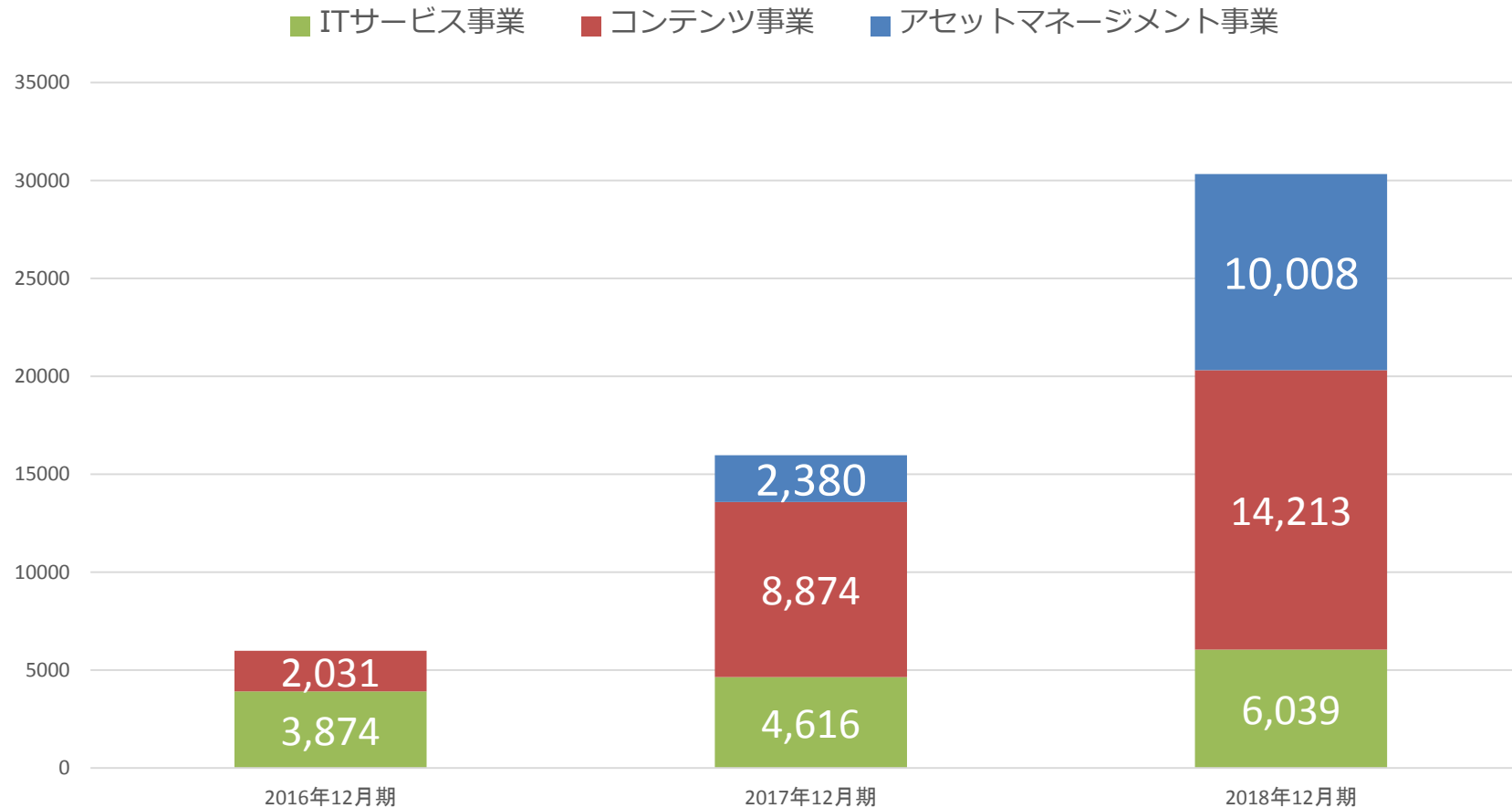
EBITDA・EBITDAマージン率推移



堅調なITサービス事業に加え、アセットマネージメント事業のフル連結寄与、コンテンツ事業のM&Aによる寄与で売上高が増加。

セグメント別通期売上高推移

(単位：百万円)

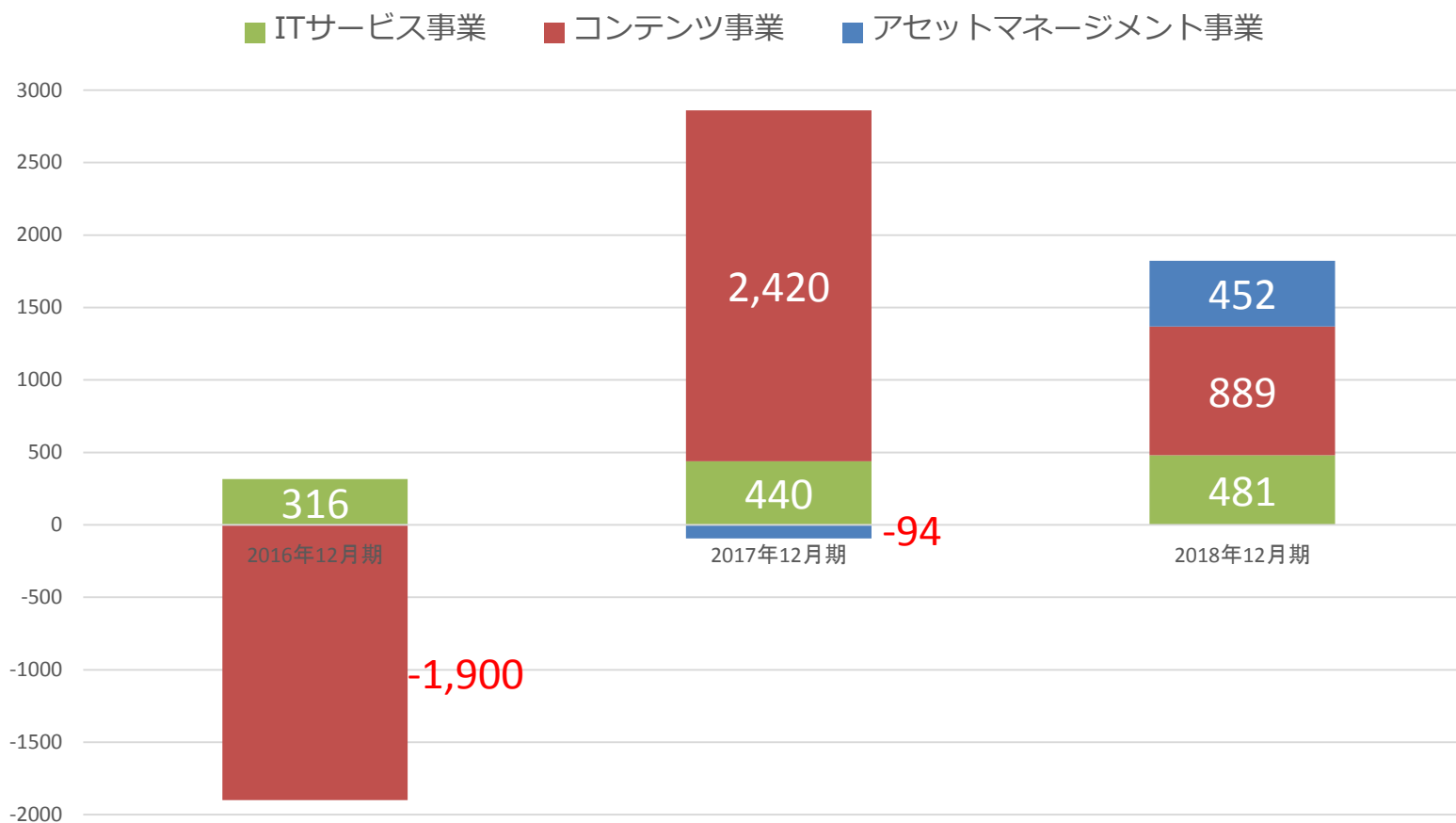


セグメント別通期業績推移（営業利益）

アセットマネージメント事業が黒字化し利益貢献。
コンテンツ事業は償却費の増加、赤字子会社の影響及びキャラクターIPビジネスへの投資により営業利益が減少。

セグメント別通期営業利益推移

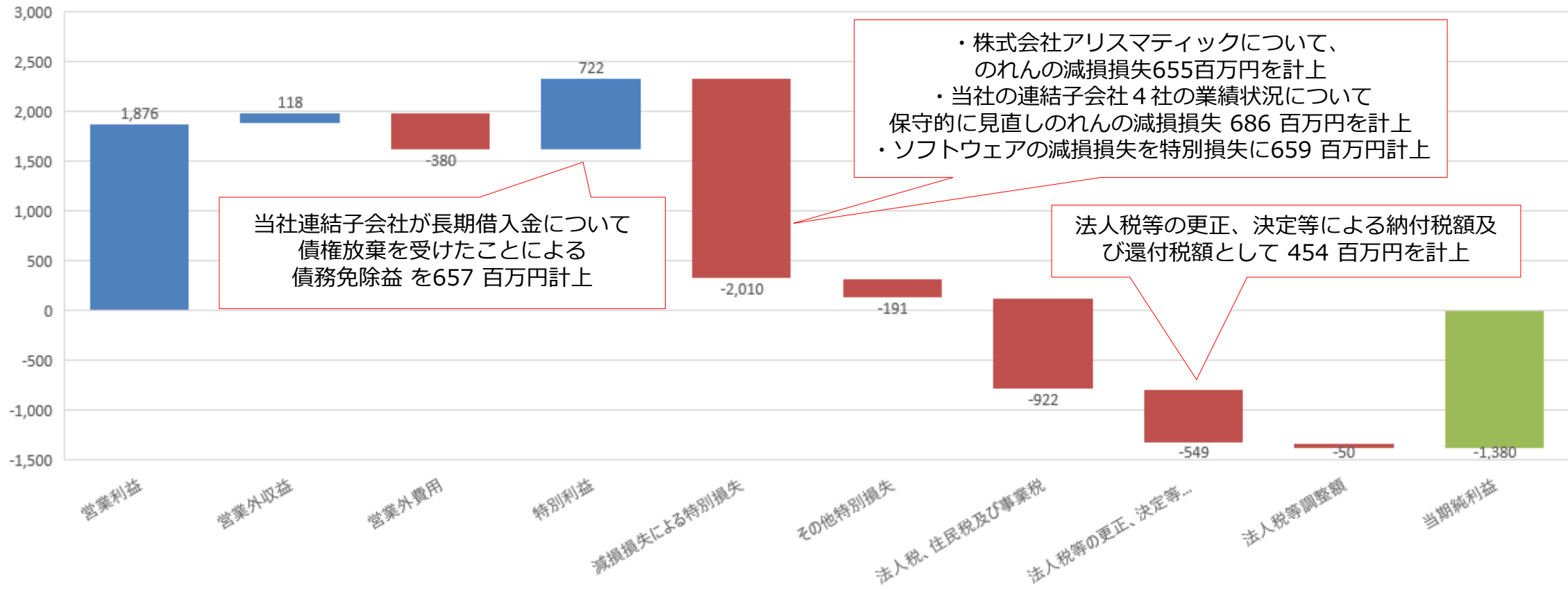
(単位：百万円)



当期純利益の減少要因は、主にソフトウェアおよびのれん等の減損。
当初策定した事業計画への進捗及び今後の業績見通しを保守的に見直し、損失を計上致しました。

(単位：百万円)

当期純利益減少要因について



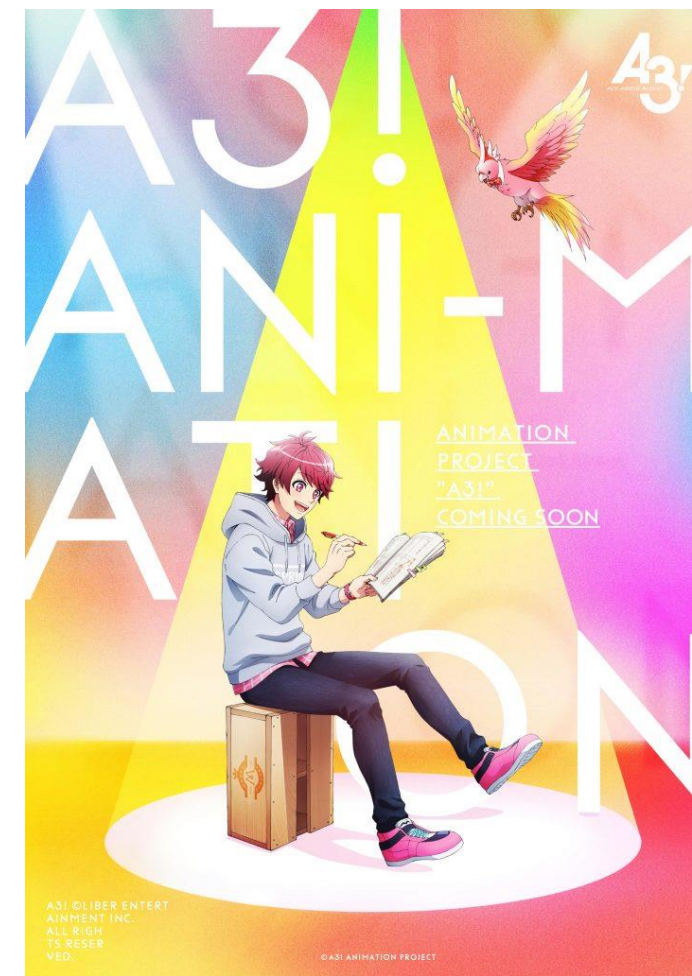
連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切り捨て）	2018年12月期	2017年12月期	備考
流動資産	19,991	21,243	アセットマネジメント事業の売上増加に伴う商品の減少。ストックオプションの権利行使に伴う現預金の増加。A3!の売上増加に伴う売掛金の増加。
固定資産	8,365	6,526	M&Aによる子会社取得に伴うのれんの増加
資産合計	28,357	27,770	
流動負債	9,750	8,715	アセットマネジメント事業の商品仕入に関する短期借入金の増加
固定負債	5,861	5,946	
負債合計	15,611	14,661	
純資産合計	12,745	13,108	新株予約権の権利行使による増加及び利益剰余金の減少
自己資本当期純利益率（ROE）	△10.9%	24.9%	
総資産経常利益率（ROA）	5.8%	15.5%	
自己資本比率	43.9%	46.2%	
一株あたり純資産（BPS）	538.50円	681.05円	
営業活動によるCF	4,479	3,455	売上債権及び棚卸資産の減少による増加のれん償却額の増加、法人税等の支払による減少
投資活動によるCF	△4,935	△1,408	M&Aの子会社取得による減少
財務活動によるCF	970	2,841	株式発行による収入の減少

The Aeria logo is displayed in a large, blue, serif font. A thin, light blue horizontal line passes behind the letters, creating a subtle shadow effect.

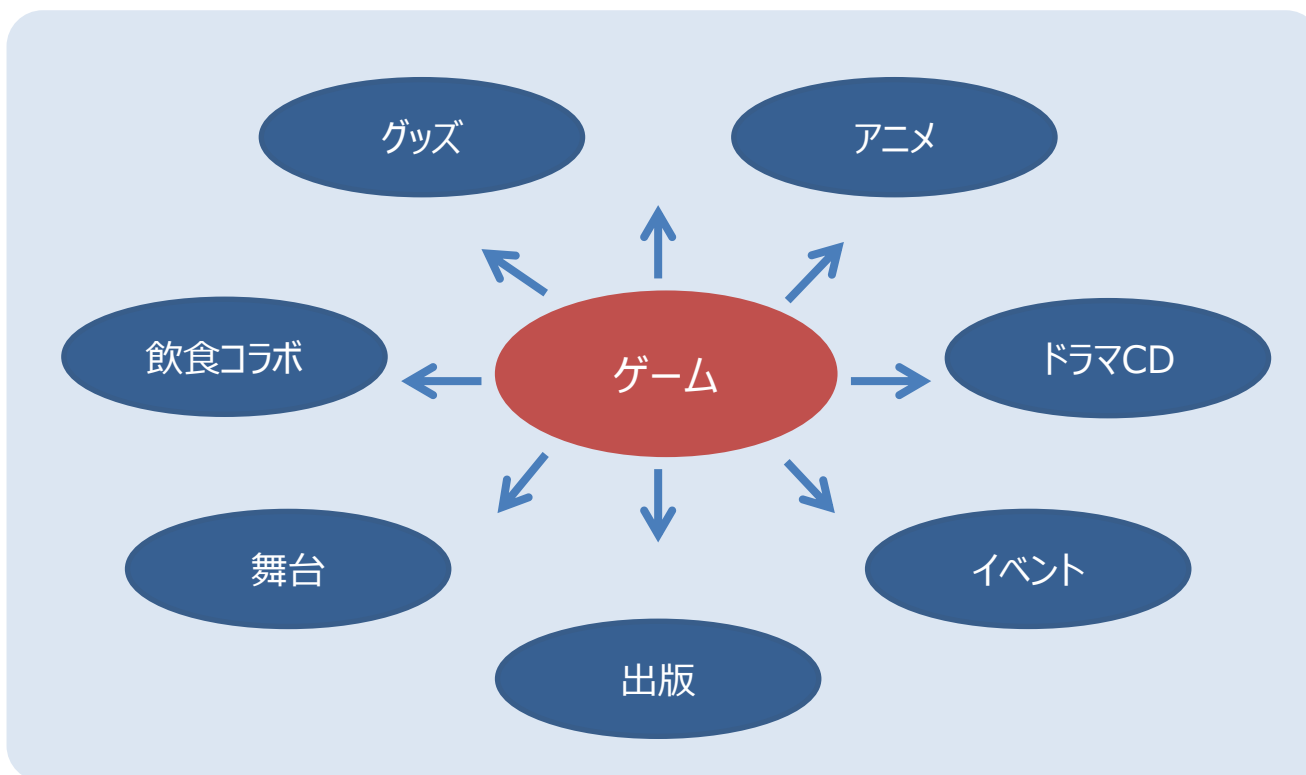
セグメント別トピックスのご報告

ゲーム事業に留まらず、キャラクターIPビジネスも拡大。
リベル・エンタテインメントのA3!の大規模リアルイベントは大きな成功を収め、
同イベントにてアニメ化決定も発表致しました。



ゲームは長く楽しんで頂くことを念頭においた運営を行い、
周辺のキャラクターIPビジネスへの投資を加速させることでIPのブランド価値を高めております。

ゲームから広がるコンテンツビジネス



ユーザーの方々に長く楽しんで頂き、
キャラクターが愛される
ゲーム運営を行っております。

周辺領域への展開や、
広告宣伝への投資により、
キャラクターIPのブランド力を
高めて参ります。

「DYNAMIC CHORD」に次ぐ第二弾として、「テンカウント」とのコラボレーション民泊を実施し、ご好評を頂いております。今後も付加価値の高い宿泊施設開発を目指して参ります。

コラボレーション民泊 施設内観



宿泊頂いたお客様の声 (一部抜粋)

- ・いろいろなところに黒瀬くんのパネルなどがありテンカウントの世界観に触れた気がします
- ・幸せな空間と時間を堪能出来ました！お部屋も広くて綺麗で、至る所に推しが並べられていてとても満足いく内容でした！
- ・今回テンカウントのコラボルームで都外からお邪魔しました。駅から近くて、また丁寧に行き方も写真付きでご案内頂いたのですごく安心して行けました。お部屋もめっちゃ広くてベッドも大きくてすごくのんびり過ごせました。
- ・お部屋の中はスタキーやクッション、パネル、ポスター等々が飾られていて黒瀬くん好きとしては最高ですね！ただ冬は、室内ですが防寒対策をした方が良くかもしれません。
- ・好きなイラストに囲まれて幸せでした。気になったのは水の使う音が聞こえてきてちょっと嫌な音だなとは思いました。
- ・部屋の隅々まで凝った飾り付けになっていて部屋には文句なしでした。コンビニも近く、買い物に困らないのも良かったです。
- ・コラボルームはパネルや小物などこだわりあり楽しい空間でした。壁一面のイラストは圧巻。映像を拝見出来る等、夢の様な場所をありがとうございました。

Aeria

今後の経営方針について

ネットワーク社会における、 空気のように必要不可欠な存在に。

アエリアはネットワーク社会の進展に合わせて、創業以来多くの事業に挑戦して参りました。

さらに進展するAI・VR/AR・ブロックチェーン等のテクノロジーを見据え、
「成長の早い領域へ積極的な事業展開」を行い、
必要不可欠な存在である事を追い求め続けます。

足元の収益性向上に取り組むとともに、安定収益を生み出す事業をベースにしつつ、成長性を高められる領域に積極的に展開して参ります。

①

変化の激しい社会情勢において、安定収益を生み出しつつ、成長性を高められる事業ポートフォリオ構成を実現する。

②

現在の事業資産を活用しつつ、技術進化の速い領域、成長マーケット領域へ、積極的に展開していく。

③

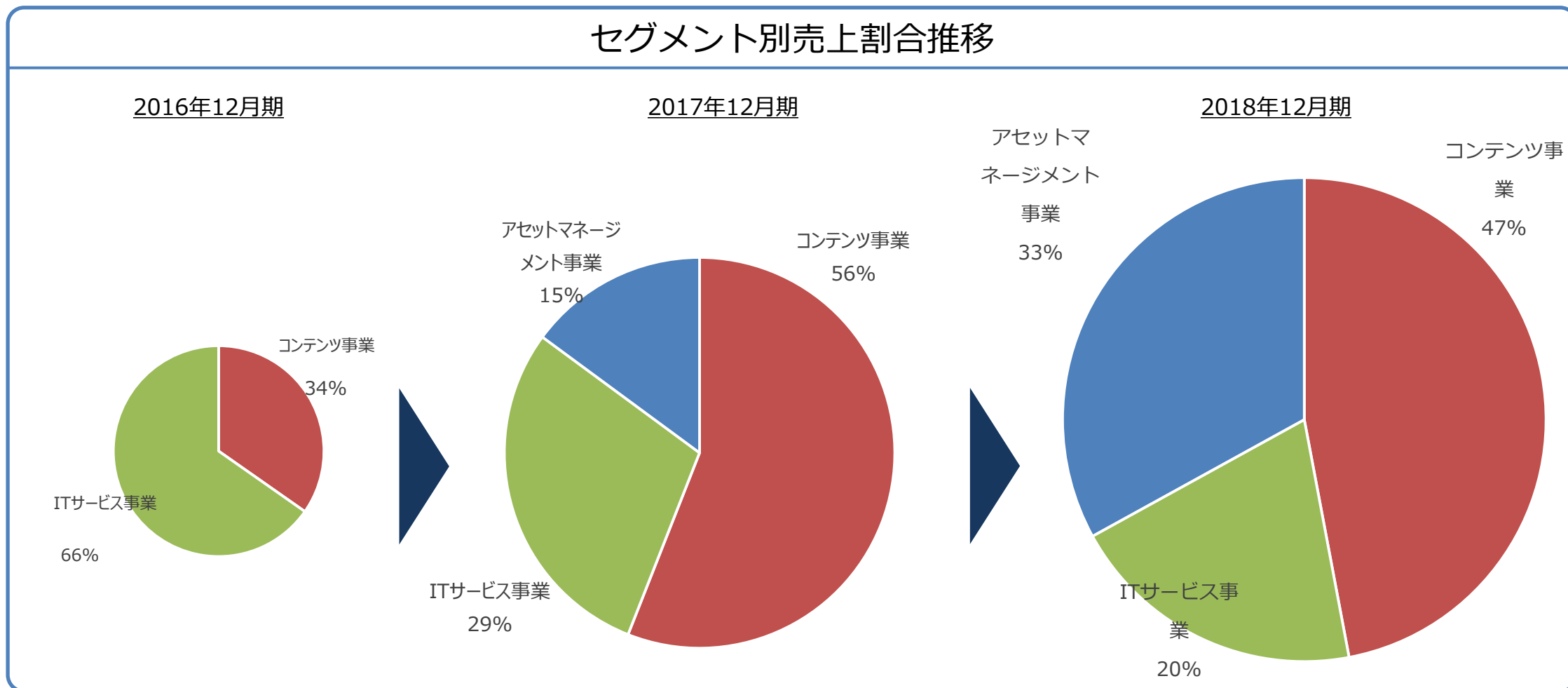
各子会社の業績及びグループ寄与度を踏まえ、各社ごとに収益性の向上に取り組むとともに、グループ再編等も行いながら収益性を高めていく。

④

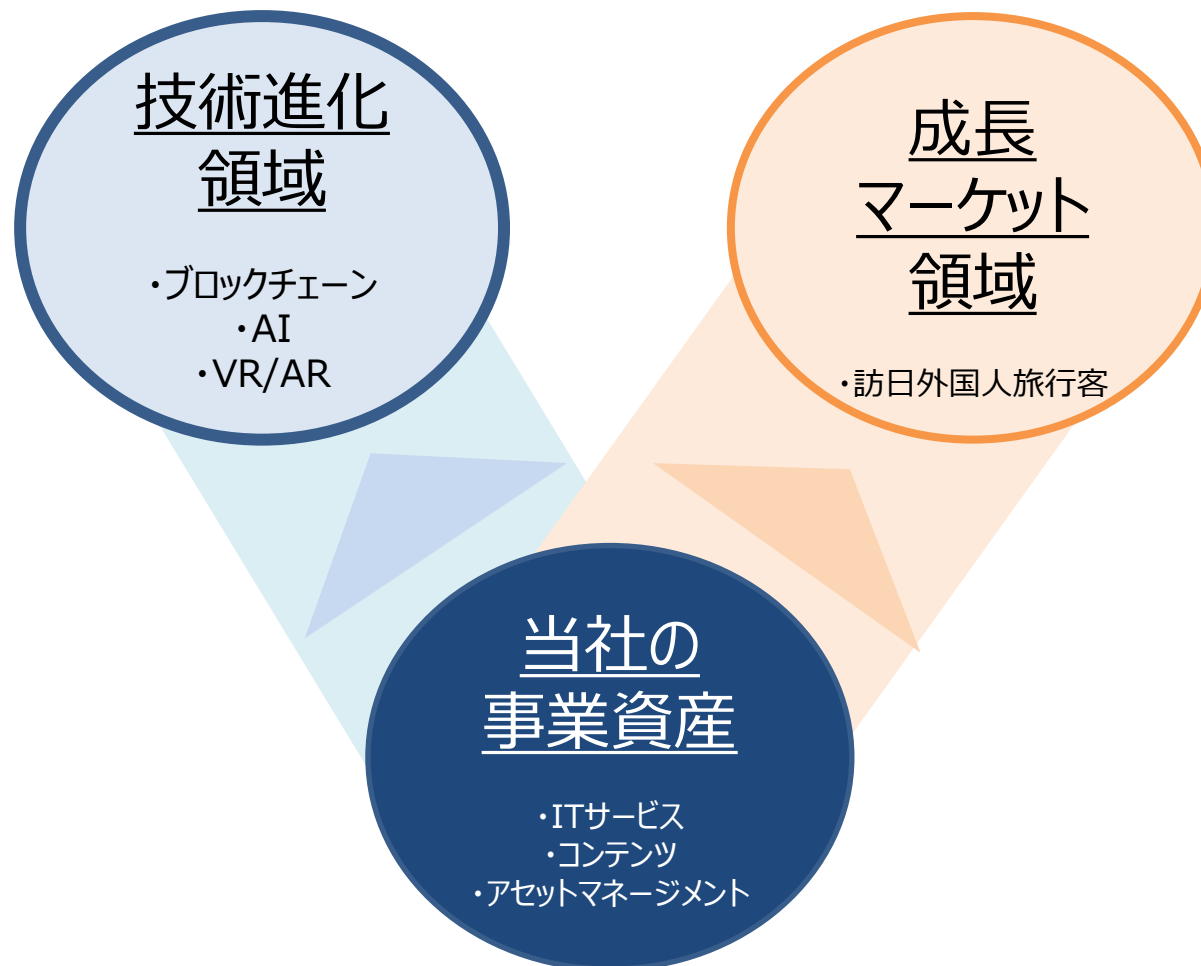
事業セグメント内、事業セグメント間におけるシナジーを創出する。

堅調なITサービス事業を保有しつつ、コンテンツ、アセットマネージメント事業が大きく伸長。
各事業の連携とシナジー創出によりリスク分散を図りつつ、
強固な収益基盤を確立して参りました。

セグメント別売上割合推移



現在の事業資産を活用しつつ、
技術進化の速い領域、成長マーケット領域へ、積極的に展開して参ります。



出資先のデータグリッド社とともに、クリエイティブ領域におけるAI活用の研究・開発を進めております。
今後も画像だけでなく、シナリオ生成、音声、自然言語処理等のテーマに取り組んで参ります。

データグリッド会社概要

- 会社名:株式会社データグリッド
- 所在地:京都市左京区
京都大学 国際科学イノベーション棟西館1階
- 設立:2017年
- 事業内容:
クリエイティブAI開発事業
AIシステム開発事業
- ビジョン:
AIと共に創造する社会を実現する。
これまではクリエイティブな仕事をAIが行うことは難しいと言われてきました。
私たちはディープラーニングを応用することで、クリエイティブAIを開発します。
人間のクリエイターの想像をAIがかき立てることで、
人とAIが共創する社会を目指しています。

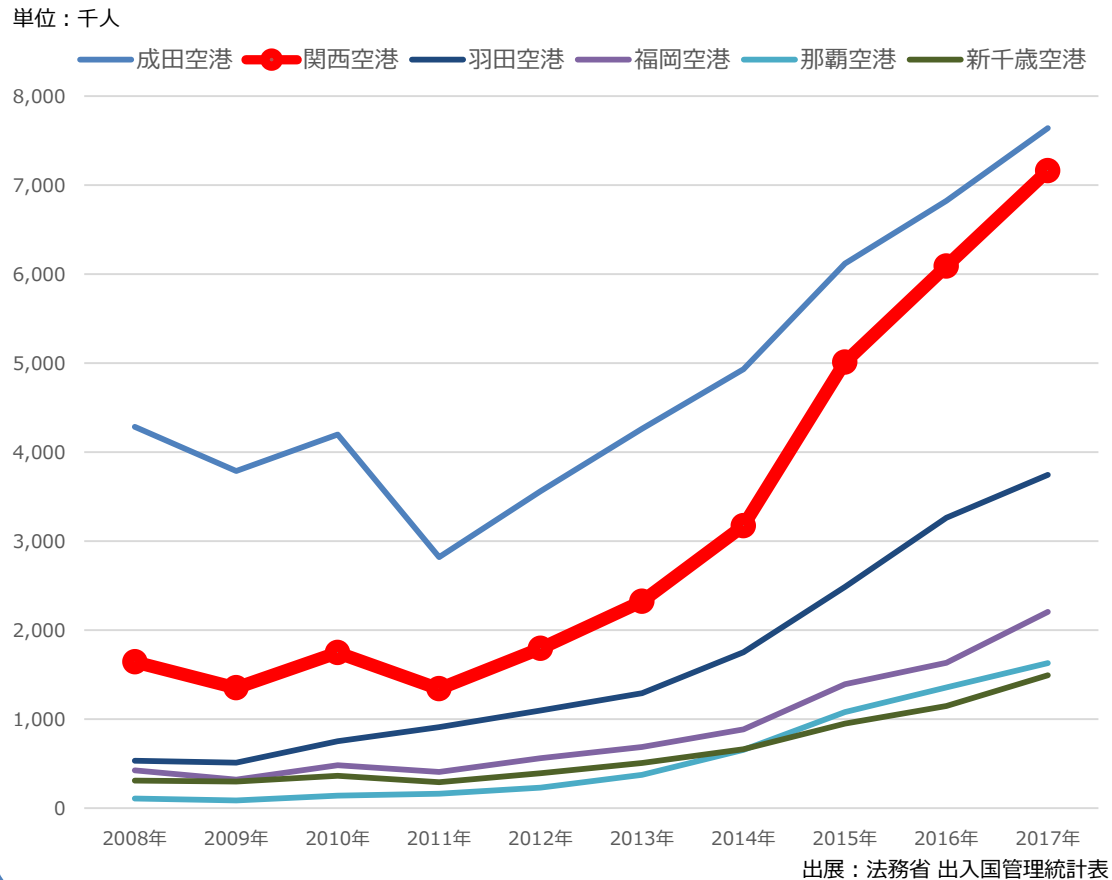


AIによる画像生成実績

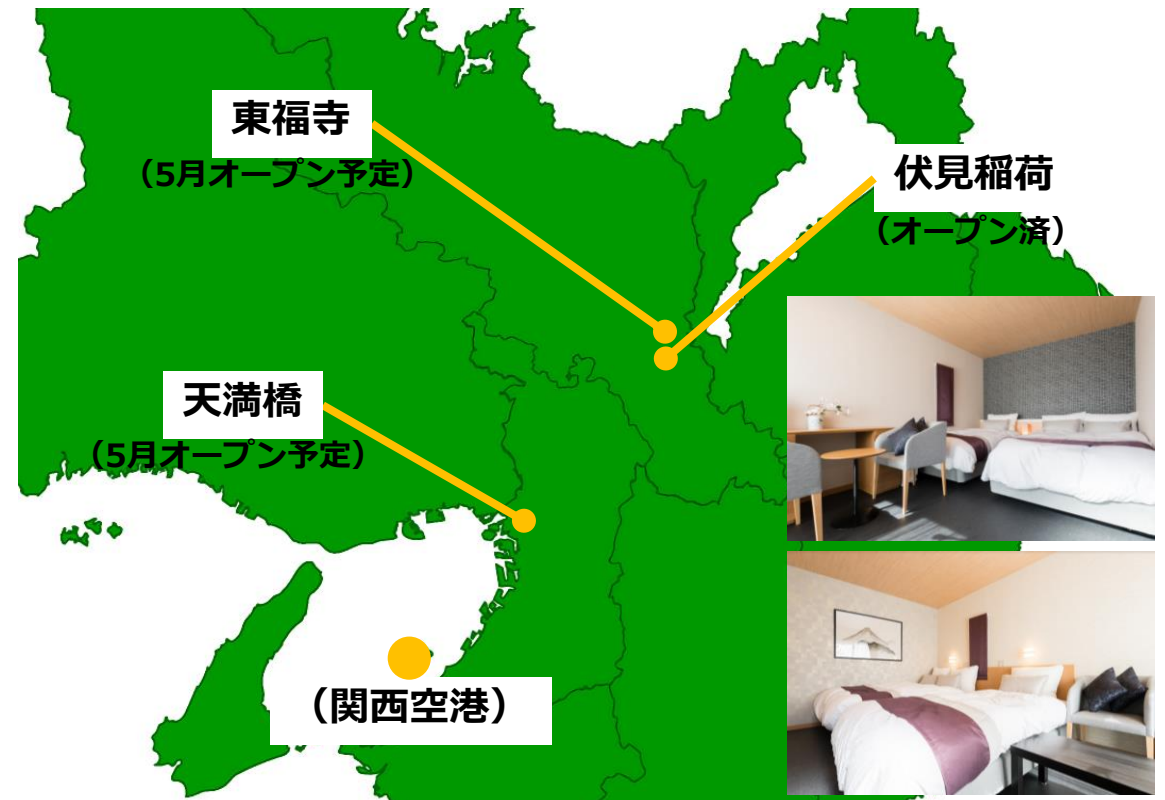


外国人観光客が増加している関西地区（京都・大阪）にて、新規宿泊施設をオープン予定。
引き続き、訪日外国人旅行者マーケットにて事業拡大を目指します。

主要空港別 外国人入国者数



新規物件のオープン予定地区



各子会社の業績、及びグループへの寄与度を踏まえ、子会社を一部再編しております。
今後も各社ごとに収益性の向上に取り組むとともに、適宜グループ再編も行いながら収益性を高めて参ります。

実施済のグループ企業再編について

株式譲渡

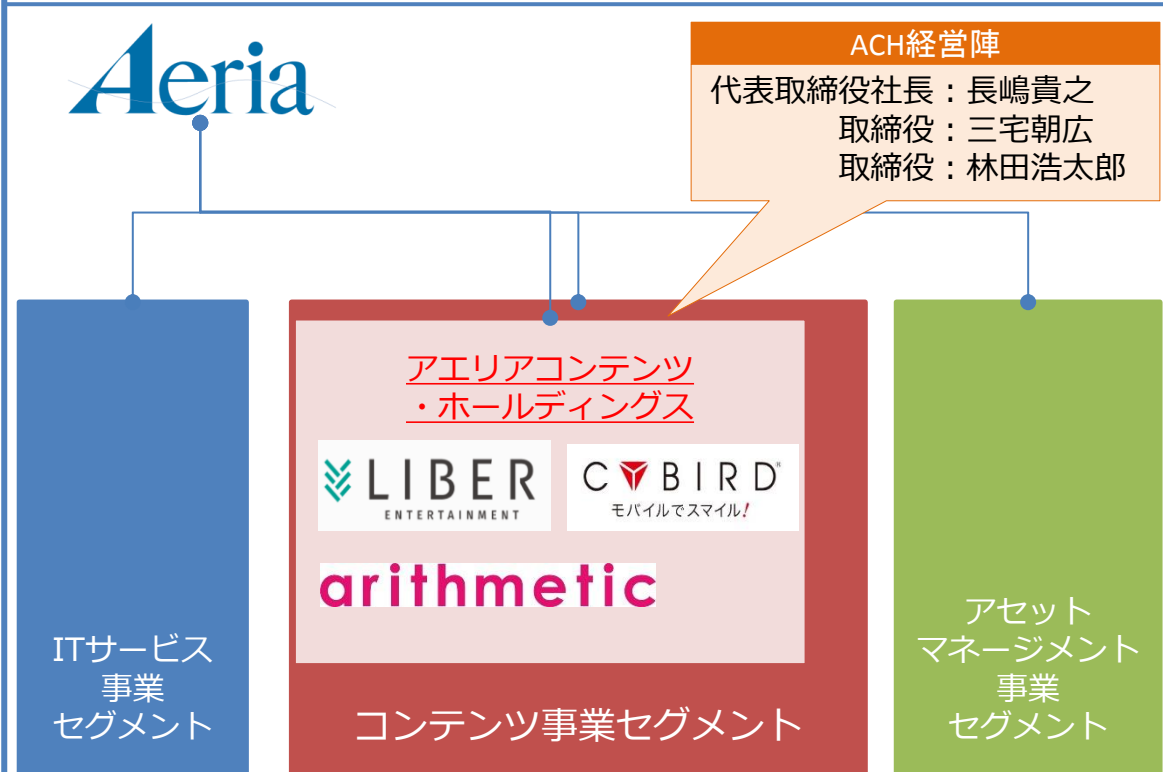
- ・株式会社エイタロウソフト
 - ・清匠株式会社
- の株式を譲渡しております。

分割型吸収分割による統合

- ・株式会社アスガルドを分割型吸収分割により、株式会社アリスマティックに統合しております。
- ※分割後の株式会社アスガルドは、清算手続きに入っております。

2019年1月にアエリアコンテンツ・ホールディングス（ACH）を設立。
株式会社リベル・エンタテインメント代表取締役林田浩太郎氏を取締役に迎え、
ゲーム・コンテンツ市場におけるシナジー発揮を目指します。

アエリアコンテンツ・ホールディングス概要図



現在進めているグループ連携方針

- ✓ 新規ゲームタイトルの開発は、林田氏を中心としたACH経営陣と連携して開発方針を決定する。
- ✓ 管理機能を共有化し、管理コストの抑制を図る。
- ✓ 人的リソースの最適配置により、採用コストの抑制、及び人的資源の有効活用に繋げる。
- ✓ ACHをハブとし、各社間の情報・ナレッジの共有を進める。

2019年1月にアエリアワンを設立。

既存事業セグメントの発想にとらわれず、新たな事業機会を見出し、グループの事業資産を活かしたシナジーの創出、アライアンス推進に取り組みます。

アエリアワン概要



ネットワーク社会における空気のように必要不可欠な存在へ

Aeria

JASDAQ(3758)

株式会社アエリア

〒107-0052 東京都港区赤坂3-7-13 赤坂HMビル4F

電話番号：03-3587-9574